

うぐいす



スローエアロビック体験会

音楽にあわせて体を動かし、楽しみながら日ごろの運動不足を解消しました。



昨年よりも多くの方に参加いただきました。

平成28年度の思い出

講座をとおして知識を深めつつ
仲間づくりや日々の気分転換をし
素敵な時間を過ごすことができました

アクリル絵画入門

初心者向けアクリル絵画講座を開催し、講座で完成した作品を総合文化祭へ出品しました。

また、移動研修会でカメイ美術館、宮城県美術館へ行きました。



はつらつ学園

健康、食、歴史など幅広い分野について学びました。移動研修会では山形へ行きました。



女性講座

「着物レッスン」

自分で着付けられるようになることが目標です。着物を身につけるたびうれしそうな受講生の様子が見られました。



青年交流

同年代の参加者が集まり地織体験をしました。地元の文化を楽しく学ぶことが出来ました。



29年度も楽しく学べる事業をたくさん計画しております。
興味があったものには気軽にご参加ください。

「便利」について考える



便利な機械は私たちに大きな利益をもたらし、今やなくてはならないほどの存在です。一方で、その「便利」に振り回される一面もあります。たとえば、携帯はどこからでも電話できますが、だからこそ、どこにいても連絡がきて、急いで返事をしなくてはならないと忙しさを感じることがあります。

☑「モモ」ミヒャエル・エンデ作

小学高学年向けの児童図書「モモ」には、「時間泥棒」というキャラクターが登場します。彼らは「時間を節約すれば命は倍になる」と偽り、人々をだまして時間を奪います。のんびり暮らしていた街の人々は時間を奪われ「忙しい、忙しい」といいながら人が変わったようにせわしなく動きまわります。

大人達が時間に追われる一方で、子ども達は買い与えられた機械のおもちゃで遊びます。本ではこのおもちゃについて「じぶんで空想を働かせる余地がまったくない」と表現し、子ども達は、おもちゃに指示された遊び方を守るだけで、自分で工夫せず、最後には退屈してしまう様子が描かれています。1973年の作品ですが、現代社会について考えさせられる物語です。

みなさんは「便利」についてどう思われますか？時には「便利」と距離を置いて、「不便」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

生涯学習とは

丸森町では生涯学習を「一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送るため、自分に適した方法を選び生涯を通じて行う学習活動」と位置づけ、みなさまの学習を支援しています。学習を通して知識を深め仲間をふやすほか、学習の成果を生かす場の提供もしております。難しいことは考えず、興味があるものには気軽にご参加下さい。

出前講座

『出前講座』とは、地域の皆様のご要望に応じて、町の職員や地域の方が講師となり学習を支援するものです。「学びたいことがあるけど、どうすれば・・・」そんな時、出前講座があなたの学びをお手伝いいたします！

申込みはカンタン！講座開催の2週間前までに約10名以上のグループでお申込み下さい。詳しくは生涯学習課までお問い合わせ下さい。

ジュニア・リーダー と遊ぼう！

子ども会行事等へのジュニア・リーダー派遣申請を受け付けております。

丸森町HPで派遣申請書のダウンロードができます。



～金山図書館よりお知らせ～

☆本の貸し出し方法が変わります☆

4月3日(月)より、本の貸出に「利用者カード」が必要となります。カードの発行は、登録用紙に住所、電話番号、名前を記入するだけ！（身分証明書などは必要ありません。）

カードを使ったバーコードでの管理となり、より簡単に図書館をご利用いただけるようになります！

なお、すでに登録されている方は、手続きなしでカードを受け取ることが出来ます。受付にお申し出ください。

詳しくは金山まちづくりセンターへ・・・TEL：78-1121